



かつら

第4号 昭和45年10月1日発行

発行所 勝浦町

発行者 勝浦町長 中田 森 蔵

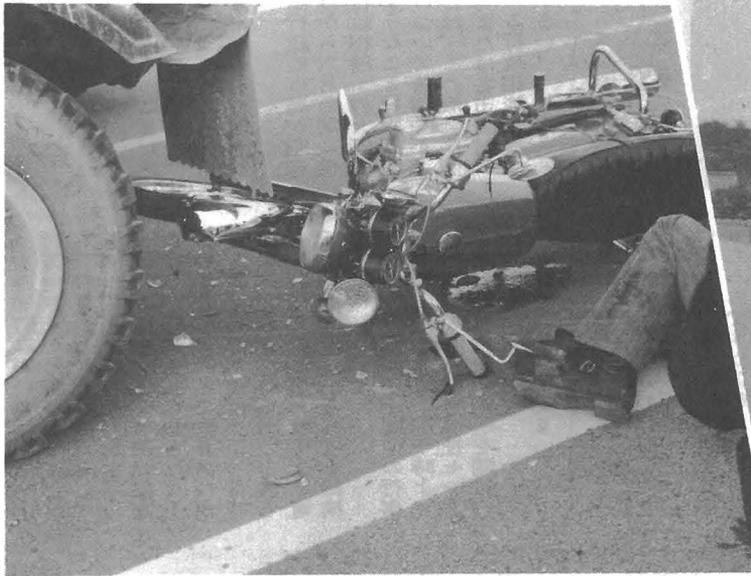
編集者 住民課広報係

印刷所 森本印刷

町民のうごき

世帯数	1,918世帯			男 4,252 女 4,371
人口	8,623人			
	男	女	計	
出生	8	4	12	
死亡	5	0	5	
転入	11	7	18	
転出	17	12	29	

(昭和45年9月1日現在)



災害 交通共 害

もし交通事故に あわれたら

交通災害共済の加入を受け付けましたところ、多数の方々
が加入されました。

交通事故は日増しにふえはげしさを加えています。

もし加入者が交通事故にあわれたら、町役場へ交通災害見舞
金の請求手続きをしてください。

見舞金の請求に必要な書類は加入者証、医師の診断書、警察
の事故証明書などです。

警察の事故証明書は、事故があったとき、すぐに警察へ届け
ておく証明してくださいから特にお忘れなく。

災害の内容は、飛行機、船、汽車電車、自動車、原動機付自
転車、自転車、その他交通用具により事故を起こした歩行者又
は乗車中の者です。

見舞金の額は

- 死 五〇万円
- 亡 一〇万円
- 六か月以上医師の診療を要した傷害 五万円
- 三か月～六か月 二万円
- 一か月～三か月 五千元
- 一日～一か月

しあわせを

みんなで築こう!!

厚生課

今年も十月一日から赤い羽根共同募金運動がはじまりま
す。このたすけあい運動にみんなが参加いたしましょう。
ご承知のように共同募金は民間社会福祉事業を一つにま
とめた窓口で、現在県下の収容施設、社会福祉団体、老人
福祉、心配ごと相談所や子供の遊び場等施設の整備や地域
の福祉増進のために重点的に配分することになっています。
今年県下の目標額は千八百万円で、本町の目標額は十八
万円となっています。みなさんの温かいご協力をお願いします。

行政相談週間について

徳島行政監察局

十月十一日から十七日まで「行政相談週間」です。行政相談週間とは、行政管理庁が行政相談制度を広く国民の皆様を知ってもらい、これを気軽に利用していただくため、昭和四十二年から毎年秋に設けているものです。

行政管理庁では、昭和三十年に行政相談業務を始めて以来関係機関と協力して、国民の行政に対する苦情等の解決に努めてまいりました。その結果、従来潜在していた行政に対する苦情がだんだんと表面に表われ、昭和四十四年度においては全国で一七、六四七件の行政相談がありました。

しかしながら、未だ国民の間行政相談に関するPRが十分浸透していないこともあって、まだまだ多数の苦情が潜在しているものとみられています。「道路を不法に占用している者があり交通上危険なので取除いてもらいたい。」「河川にゴミ等を投棄し附近の住民が非常に迷惑している取締ってもらいたい。」「労働者災害補償保険による休業補償費の支払が遅れ困っている早く支払ってもらいたい。」「軍人軍属遺族援護年金等の交付申請を行なったが何の回答もないどのようになっているのか調べてほしい。」「農地転用の申請を行ない相

当期間がたつているのにまだ許可がなく困っている。」「七十才になったのに老令福祉年金がもらえないその理由を知りたい。」「これは徳島行政監察局が昭和四十五年四月から六月の間に受けつけた「行政相談」の一例ですが、このようなことに限らず役所の仕事について苦情や不満をお持ちの方は、この機会に徳島行政監察局または各市町村に配置されている行政相談委員にお申し出下さい。

当勝浦町においては沼江の中村芳生さんが行政管理庁長官から委嘱され行政相談委員として皆様の相談に応じています。「行政相談」は、無料で秘密を守り、特に名前を知られたくない場合には匿名で取りあつかいます。また、受付は、常時行っており、申し出の方法も直接口頭で申し出られても、電話や手紙で申し出られても結構です。

なお、行政相談週間中の行事として十月十六日午前十時より午後三時の間勝浦町福祉センターにおいて行政相談所を開設いたします。ぜひご利用下さい。

正しい横断正しい運転

道路の横断を励行することはもちろんですが運転者も歩行者を保護すると言う精神に徹して、交通ルールにそった正しい運転、安全な運転を励行する心がけて下さい。



歩行者事故の中で最も多いのが道路を横断中の事故で、昨年の統計から見てもその半分近くが横断中の事故です。その事故を防ぐためには先づ歩行者自身が正しい歩行、正し

運転者は――

- 歩行者保護に徹し安全運転を励行する。
- 横断歩道に近づいたときは、いつでも止まれる様にスピードを落して運転する。
- 横断中の歩行者や横断しようとしている人を見かけた

無料法律相談

「法守る手と手で 築くよい社会」
十月一日から「法の日」週間がはじまります。

この週間行事として、弁護士会などの協力により、無料法律相談所をつぎのとおり開きます。十月五日(月)午前十時から午後三時まで、徳島地方裁判所相談内容は、金銭、借地借家、交通事故、家庭、少年、檢察審査、人権擁護、登記、戸籍、その他法律上の諸問題です。お気軽に御利用ください。

一一九番電話 (火災専用電話) の設置

阿波勝浦浦電報電話局の開局により、火災通報専用電話として一一九番電話機が役場に設置されました。今後、火災を発見した時は、一一九番で役場へ通報してください。

なお、この電話は、火災通報の専用ですから、他のことに使いますと、火災の場合に「話中」となり、通報がおくれ消防団の出動がおそくなりますから他の用件には絶対に使用しないようお願いいたします。 総務課

県道を

守りましょう

路上に駐車している車、むやみに路上を占用している車を私達の手で追放しましょう！

最近の車の増加にもなない、路上駐車及待避所駐車は目にあまるものがあります。又県道をむやみに占用して、狭い路上をなお狭くしているのが現状です。こうしたことをなくすには、皆様一人一人の心がけが大切であることはいうまでもなく、気付けば注意し合う精神がほしいものです。皆様方の御協力をお願い申し上げます。 建設課

住民相談

お気軽に御利用を みなさんの窓口です 行政に対する苦情なり 御意見をお聞かせ ください。 住民課

△お願い

九月号発行と同時にお手許に広報(表紙)をお送りしました。広報は町政の動きやみなさんの身近なことからお知らせしてまいりますので今月も忘れずに大切に保存(綴る)ください。 住民課(広報係)

先進地のみかん栽培

勝浦町のみかん栽培は、昭和43年の雪害と、安値により大きく経営者の顔色を変えてしまった。そこで他産地に於ける横顔をのぞいてみると。

一、静岡県三ヶ日町

栽培面積一四〇〇ha、早生30%、普通70%で最近の栽培はほとんど早生であり、農家戸数一八〇〇戸、うち業用四〇〇戸で兼業農家、専業農家のみかん園共に完全な灌漑栽培がなされ、整枝剪定、摘果が完全になされている。販売は農協荷率72%で年間プール計算、殊に技術指導のリーダーシップを完全に農協が持っている。一方農家の考へ方も、品質本位のみかん作りに切換え、積極的な生産費の低減を心がけ、特に農道の完備は目を見張るものがある。

二、静岡県西浦

伊豆箱根の観光地の周辺で、地価の非常に高い産地であるが、昔からの貯蔵みかん産地として



その名声を守るべくみかん栽培に対する意欲は大変なものである。例えば、農協出荷100%3月より4月下旬に焦点を合わせた栽培管理、基盤整備、貯蔵庫の管理等個人の投資と合わせた共同事業はたいしたものである。殊に坪一万円もするみかん畑を手放す栽培者は一人もなく、規模拡大が出来ない一方、採取労務者の不足に頭を悩ましている。

三、神奈川県小田原市

此の産地はみかん80haで丁度本町の今山地区のような急傾斜で、他に養豚、シイタケ、茶の産地であり西に熱海、湯河原の湯泉地を、東に小田原、横浜と工業地帯を持つ都市近郊のみかん産地である。

こ、でもみかんに対する栽培者なり、地域の熱意は大変なものがあつて栽培農家67戸が80ha延一萬Mの農道をつけ、4M中で完全舗装の道は、過剰投資になる位である。

米生産調整奨励補助金の交付を申請

四百四万九千二百八十八円

昭和四十五年米生産調整勝浦町割当目標数量六五トシに対し最終実施調整農家一七三戸計画数量六一トシで九一・八%達成、申請のありました計画書を七月二十四日より八月一日の確認日まで昭和四十五年米生産



殊にこの地区は完全な農休日制を取り毎月一日と十五日を完全休日にしている。

販売、購買の農協利用は100%で、地域全体が一経営主の顧になつたすばらしいみかん園であり、品質と味で勝負出来るみかん作りに、剪定、摘果、土壌管理とすばらしい意欲を見せている。

以上本町と良く似た貯蔵産地と、急傾斜のみかん産地、又栽培歴の古いみかん産地を紹介したが、みかん産地の将来を考へるとき今一度同志の産地を見ることがあるように思う。

全国みかん研究大会開く

才十九回全国みかん研究大会が、九月十七日十八日の両日、愛知県で開かれた。

才一回の産地視察は愛知用水、豊川用水の灌がい施設の出来た知多半島のみかん産地、握美半島のみかん産地と、東京市場で静岡県の三ヶ日と並んで貯蔵みかんの名声を売っている蒲郡の産地視察。

才二日は豊橋市で全国から集つた約四〇〇〇人の熱心な栽培者と国会議員、農林大臣出席で盛大に大会が開かれた。

殊にみかん生産量の増大と貿易の自由化に伴う外国みかんの輸入等緊迫したみかん状況に対処すべき研究発表、産地批判、大会宣言を行ない散会した。

産地批判の内容は、神奈川県よりみかんの貯蔵と基盤整備について、広島県よりうまいみかん作りと品質向上、福岡県より産地に於ける組織関係についての各意見があり、これに対して試験場の副場長から答弁があった。

研究発表はみかんの品質向上対策について、みかんの貯蔵対策について、みかん経営の近代化について、果樹農政についての発表がされ、農林省果樹振興審議会委員の梶浦博士、日園連高橋顧問の助言がされ、最後に大会決議を農林大臣に陳情して散会した。大会決議宣言は次のとおり。我が国柑橘産業は、国の果樹農業振興の関係法等に基き急速な発展を遂げてきた。し

かるに、昭和42年産以降の全国みかんの生産状況は、異常気象等の影響によるとはいへ、隔年結果の現象が顕著にあらわれ、これが為、ここ数年のみかん価格は大幅な変動をきたし、みかん産業全体の発展に著しく支障をきたしている。一方我が国経済の高度成長に伴い、国際貿易環境はますますきびしさを増し政府は、輸入制限品目の大幅緩和を実施する方針を示している。ここに於て、我々全国みかん生産者は、商品性の高いみかんの安定生産体制を確立するため集中的な技術展開を図ると共に海外産果実及び加工品の動向に、対応するため、国に対し次の諸施策の実現を期するものである。

一、柑橘産業の国際競争力強化を図るため、国は、柑橘園再開発事業を拡大し、早急に農道及び柑橘園等の基盤整備を図ること。

二、みかん価格の安定と、消費の拡大を図るため、みかん貯蔵庫及びみかん果汁工場等の流通加工施設の設置に対し、高率かつ大幅な国庫助成を図ると共に商品性の高いジュース生産技術の開発に努めること。

三、発展途上にある柑橘産業に重大な影響をもつグレップフルーツ、オレンジ及び果汁等は絶対貿易の自由化を向いこと。

四、最近の消費動向に対応し、味に重点を置いた柑橘の育種及び新品種の導入等を強力に推進するため、国の試験研究機関の拡充強化を早急に図ること。

(産業課)



ご挨拶

太田 重嘉

風の音、すだく虫の声、また、色づき初めしみかんにも、秋の深まるを感じるとき、町民皆様には益々ご健勝でお越しのこと心よりおよろこび申し上げます。

このたびは早速も中田町長さんをはじめ議会議員諸賢のお招ねきにより、皆様の勝浦病院に勤務することになりました。太田でございます。私もより浅学非才ではあります。一たんこの重責をお引受けいたしました。えは出来得る限り皆様のご期待にお応えする決心で就任いたしました。ただ、現医療体制下における公立病院、特に辺地の病院では医師の不足、また過疎による患者の減少、更に人件費の増高に反比例する医業収益の低下等、経営上の悪条件が重なり医療制度上その運営に大きな問題を生じております。

住民の医療と保健確保の使命を担って創設以来二十年、勝浦町ならびに診療圏内住民の負託に応えた、当勝浦病院も、今や存亡の重大な岐路に立ったと申し上げても過言ではないと存じます。

この上は職員一致団結のもと真に魅力ある病院として町民皆様に親しまれ、また、町理事者をはじめ議会議員諸賢の、あたたかいご理解と九千町民の協力

による外、打開の道はないと存じます。幸わい徳島大学医学部関係各局が当病院に対して深いご理解をもつて、バックアップ下さるので、漸次医師の充足施設の完備を行ない、住民の健康センターとして精一ぱいの努力を傾注する決意であります。ただ、私としても現在迄医療一すじに専念いたしておりましたもので、公営企業経営について

はずぶの素人でございます。この点ご了承下さるとともに、ご支援ご鞭撻のほど、勝浦広報紙上をかりお願い申し上げます。就任のご挨拶といたします。



選挙啓発 シリーズ

入選作文(小学校の部)

第一位 横小五年 松島恵美

夏休みも残り二学期が始まって二日目に私達の組では学級委員を決める選挙をしました。大人の人達も国会を代表する議員さんなどを決める選挙をします。このように子供も、大人も同じような選挙をしますが大人の人はもちろん一部の人が選挙の前にお金をわたしたりごちそうなどをし、きたない選挙をしていることを新聞などで知りました。これが明るく正しい選挙でしょうか。でも子供はそんなことをしません。なぜ大人

の人はそんなことまでして、えらくなりたいのかわかりません。えらくなくてもお金をあげたりごちそうをしてあげて、えらくなるのだったらやめたほうがいいと思います。そんなことをしないでいづれみんなが投票してくれると思います。そんな人こそみんなのためによいことをしてくれんと思ひます。

入選作文(中学校の部)

第一位 勝中一年 武田昌美

清き一票をよろしく願いますと選挙のたびに新聞や車で頼んでいる候補者また各市町村ではポスターやマイクローカーで明るい選挙、正しい選挙とさかんにPRして有権者に呼びかけています。それが守られているのでしょうか。私はこうした呼びかけは殆んど効果がないと思ひます。表面だけのきれいな見せかけは大人の世界のみにくい一面ではないと思ひます。だってそうではないでしようか。選挙管理委員会が声を大きくして正しい選挙を呼びかけながらその呼びかけとはうらはらに選挙の度にあらゆる候補者の選挙違反がマスコミをにぎわしているのはどうしてでしよう。またそんな人が金の力や品物の力で当選したと

なことになれば私も父や母と同じようにことわりして「この人なら私のいる町をまとめて守ってくれるりつばな人だ」と思う人をさがしよく考えてからその人に投票します。みんながそのような心をもつていればほんとうにいい人を選べると思ひます。そして楽しくよい町にいい国をつくりましよう。それはみんなのためにみんなの一票からと言うことを忘れないでください。よく考えこの一票一票に大きな力があると言うことを忘れないでください。そして清き一票を清き手で、清き人に投票しましょう。

しても立派な仕事ができるはずがありません。自分の実力で当選しなかつた人が人の前に立つ価値はないと思ひます。だけど今の社会はそんな選挙違反しても当選しています。だからいつまでも選挙違反がたえないのだと思ひます。でもこれはそういう間違つた選挙を平気でやっている有権者にも大きな責任があると思ひます。有権者というのはただ選挙権があるというだけでなく自分の考えで立派な人を選ぶ責任があると思ひます。そのためには適当な人であるかどうかを見きわめられる力を持つていなければならぬと思ひます。

私は大人の選挙のことはまだわかりませんが学級委員の選挙には違反なんかありません。買取なんてありません。たとえ、そんなことをしたとしてもそのときだけのへつらいもありません。又たとえそんなことをしたとしてもそういう人は選ばれません。つまり私達の選挙こそ正しい選挙です。力のある人、まわりの人のことを公平にいつも考える人が選ばれます。またそういう人を選びます。私は大人になっても、この学級委員の選挙を忘れないで恥かしくない正しい選挙をし、立派な人を選ぶ責任を持ちたいと思ひます。

◎この作品は小中学校児童生徒を対象に募集した入選作文です。

勝浦町明るく正しい選挙推進協議会
勝浦町選挙管理委員会

中学校体育部記録

ことしの勝浦中学校はいよいよ「石の上にも三年」の年を迎え、文化面、体育面共にその実を上げつつあります。ことに体育面に於ては、町当局および町民の皆様方の深いご理解と絶大なご支援をいただき益々盛んにそして健全に育ちつつあります。本年度も陸上競技の勝小、県大会などを残し殆んどが熱戦の幕をとり、各クラブ共に新チームで次に備えて毎日練習に余念がありません。

ここに誌上をおかりして今年度の勝浦中学校体育クラブの戦跡をあげてみることにしました。



小学校運動会から

優勝 五月十三日 勝浦中・園芸高

男子バレーボール

女子バレーボール

卓球 団体

卓球 個人 3年 花棚利夫

男子バスケットボール

女子バスケットボール

ソフトボール

野球

剣道 個人 二年 宮下充玄

準優勝

剣道 団体

勝浦・小松島

六月 十四日 小松島中・千代小など

優勝

男子バスケットボール

女子バスケットボール

卓球 個人 三年 中田憲孝

ソフトボール

準優勝

男子バレーボール

サッカー

卓球 団体

優勝 七月二七日 勝浦中・園芸高

男子バスケットボール

女子バスケットボール

男子バレーボール

ソフトボール

卓球 団体

卓球 個人 三年 中田憲孝

体操

野球

準優勝 女子バレーボール

剣道 団体

優勝 八月九日 西ノ丸ほか

総合体育大会

八月九日 西ノ丸ほか

男子バスケットボール

ベスト8

ソフトボール

ベスト4

野球

ベスト4

女子バスケットボール

一回戦で三加茂中に惜敗

卓球 団体

ベスト4

卓球 個人

三年 花棚 利夫 9位

体操 個人

柴田 英明 5位

謝々比利治 6位

野球

一回戦敗退

男子バレー

一回戦敗退

小松島大会 8月7日 勝

小松島市営球場 優

南部大会 8月19日 勝

富岡西高 優

県大会 8月25日 勝

蔵本球場 優

ベスト4

優勝 八月九日 西ノ丸ほか

小松島大会 8月7日 勝

小松島市営球場 優

南部大会 8月19日 勝

富岡西高 優

県大会 8月25日 勝

蔵本球場 優

ベスト4



優勝 五月十日 西ノ丸

陸上選手権大会

五月十日 西ノ丸

一〇〇m

14秒8

二〇〇m

32秒1

四〇〇m

63秒4

一、五〇〇m

4分53秒0

三、〇〇〇m

10分49秒0

伊丹真悟

第五位

小関智子

第七位

寛 薫

第五位

鮎川保弘

第四位

大川浩二

第八位

伊丹真悟

第九位

伊丹真悟

八〇〇m

2分27秒8

一、五〇〇m

4分56秒6

三、〇〇〇m

10分35秒9

伊丹真悟

一〇〇mハードル

15秒8

麻植 敏

四〇〇mリレー

58秒0

小関、白樫、滝花、川口

八〇〇mリレー

1分46秒4

平岡、大川、森野、坪井

走り巾とび

坂口 充弘

5・43m

4・30m

加藤喜代子

走り高とび

1・29m

小山美江子

棒高とび

2・60m

岡 義尚

三段とび

11・62m

坪井泰博

砲丸投げ

10・73m

謝々比利治

円盤投げ

24・84m

謝々比利治

二位

一〇〇m

12秒9

坪井泰博

二〇〇m

14秒9

滝花幸子

二〇〇m

27秒7

片山定彦

四〇〇m

1分01秒6

鮎川保弘

八〇〇m

2分28秒2

前田昭博

三、〇〇〇m

11分1秒5

平山 元

八〇mハードル

17秒2

岡 明美

走り巾とび

5・33m

山西正芳

4・10m

平山智子

走り高とび

1・26m

古田京子

三段とび

10・44m

崎山哲幹

砲丸投げ

10・72m

平岡靖一

円盤投げ

24・11m

定作 欽治



昭和45年10月 献立予定表 勝浦町学校給食センター

Table with columns for Day, Menu, Milk, Side Dish, and Main Dish. Includes special days like 'Family Day' and 'Sports Day'.

—お料理メモ—

◎ 高野豆腐とじ煮 (材料1人分)

- 高野豆腐 10g
卵 30g
干しいたけ 1g
人参 10g
グリーンピース 5g
鶏肉 20g
出汁 1C
醤油 8cc
砂糖 3g
味の素 少々
①高野豆腐は湯につけてもどし、水気を切りサイコロに切って、だし、醤油、砂糖、味の素で調味した中で煮含ませる。
②人参、しいたけはせん切りにしておく。
③①の煮含ませた汁の中へ鶏肉と他の材料を入れやわらかくなるまで煮て煮含ませた高野を入れ煮立て味がなじんだころとき卵を入れふたをしてむらしておきます。

◎ 豚肉とさつまいもの揚げ煮 (材料1人分)

- さつまいも 80g
揚げ油 適量
豚肉 20g
土生姜 少々
キャベツ 20g
ねぎ 10g
白ゴマ 1g
しょう油 5cc
砂糖 2g
味の素 少々
水 1/3C
①さつまいもはための拍子木型に切り塩水につけ、あく抜きをして、水気を切り油で揚げる。
②鍋に油を熱しおろし生姜を炒め豚肉を入れ、砂糖、醤油、水を加えてつけるように味付する。
③キャベツは3cm角にねぎは3cm長に切る。
④②にキャベツ、ねぎを入れ、空揚げたさつまいもを入れ手早く仕上げ白ゴマをふる。



明るく正しい選挙啓発 作品の入選作決る

小中学校児童生徒を対象に募集した選挙啓発作品を九月七日開かれた審査会において厳正に審査の結果次の方が入選と決まりました。

- 入選作**
- (一)ポスターの部(小学校)**
- 一位 生小五年 花岡 重幸
 - 二位 坂小四年 舟井フクミ
 - 三位 横小五年 神田 真澄
 - 四位 坂小五年 岸上 和恵
 - 五位 坂小五年 山本 成和
 - 六位 生小五年 小川 正典
 - 七位 横小六年 岩田 和悦
 - 八位 横小六年 山口加津江
 - 九位 生小五年 青木まゆみ
- (二)標語の部(小学校)**
- 一位 坂小六年 椋井 宏栄
 - 二位 生小六年 久木 喜仁
 - 三位 生小六年 久木 喜仁
- (三)作文の部(小学校)**
- 一位 横小五年 谷 尚子
 - 二位 横小五年 桂木 玲子
 - 三位 横小五年 前野 玲子
 - 四位 横小五年 前野 玲子
 - 五位 横小五年 前野 玲子
 - 六位 横小五年 前野 玲子
 - 七位 横小五年 前野 玲子
 - 八位 横小五年 前野 玲子
 - 九位 横小五年 前野 玲子
- (四)作文の部(中学校)**
- 一位 勝中三年 山路 松代
 - 二位 勝中三年 山路 松代
 - 三位 勝中一年 山丸 裕子
 - 四位 勝中一年 山丸 裕子
 - 五位 勝中一年 山丸 裕子
 - 六位 勝中一年 山丸 裕子
 - 七位 勝中一年 山丸 裕子
 - 八位 勝中一年 山丸 裕子
 - 九位 勝中一年 山丸 裕子



結核検診 実施についてお知らせ

(レントゲン間接撮影)

町内から結核患者をなくするため毎年結核検診を行っています。現在なお、町内に一三五名の方が結核のために長い療養生活を送っておられます。御承知のとおり私達はいつしか知らぬうちに結核に犯されている場合が多いのです。ですから健

- 選びましよう**
- 佳作 勝中一年 柳沢 良昭
 - 悪くなる
 - 佳作 勝中一年 丸岡 則子
 - この一票明るい政治
 - 明るい未来
- (三)作文の部(小学校)**
- 一位 横小五年 松島 恵美
 - 二位 横小五年 神田 真澄
 - 三位 生小五年 中田 敏子
 - 四位 生小五年 大井美恵子
 - 五位 坂小六年 仲田 智子
 - 六位 横小六年 大川 英和
 - 七位 坂小六年 松下 和江
 - 八位 坂小五年 新居 初美

十月は食中毒の発生期です 調理に十分 気を付けましょう

秋風が吹き涼しくなつてまいりましたが、私達の体は猛暑の疲労が蓄積しどうしてもすぐに快復しないものです。その疲労につけ込んであらゆる病気が発生しがちですから健康に十分注意してください。

御承知の如く十月は町内各地区で神社の祭礼がとり行われます。このときにはどうしても食中毒の発生に注意しなければな

康なうちに検診を受けておくことに大きな意義がありますので結核健康診断(レントゲン間接撮影)の当日は御家族全員が受けてください。

検診は来る十月二十六日から十月末日までの予定です。(日程は後日お知らせします) 厚生課

- (中学校)**
- 佳作 生小六年 野口美貴子
 - 一位 勝中一年 武田 昌美
 - 二位 勝中一年 小川 真澄
 - 三位 三年 美馬 秀美
 - 四位 三年 野口 富子
 - 五位 二年 敏鎌 葉子
 - 六位 二年 谷口 雅彦
 - 七位 一年 森脇 春代
 - 八位 二年 崎山 哲幹
 - 九位 二年 寛 薫
- 右の各部門に入選された方に賞状及び記念品を贈呈すると共に応募者全員に記念品を贈りました。
- 住民課 選挙係
- りません。食中毒は家庭外で入手した調理食品を家庭にもち帰ってたべて起る事例よりも家庭の台所で調理した食品による場合の方が多いことは注目しなければなりません。そこで家庭の台所衛生が極めて重要でありまた又、台所の不衛生からおもわぬ伝染病が発生します。特に人間の手先から侵入する病原菌(赤痢)には十分注意してください。
- 《台所の衛生十ヶ条》
- 第一条 調理する人は特に健康に気をつけましょう。
 - 第二条 台所の整理、整頓、清潔保持に努めましょう。
 - 第三条 調理前には必ずよく手を洗いましょう。もちろん食事前も同様です。
 - 第四条 食器類、ほう丁、まな板、ふきんの洗浄、消毒を徹底しましょう。
 - 第五条 料理の材料は清潔で信用のある店であるべく新鮮なものを選んで買きましょう。
 - 第六条 なまものはできるだけ新鮮なものを、また火をよく通して食べましょう。
 - 第七条 冷蔵保存を過信しないで食品の保管貯蔵に気を配り、なるべく早目にたべるようにしましょう。(食べ残りには十分注意が必要です)
 - 第八条 ネズミ、ハエ、ゴキブリを徹底的に駆除しましょう。
 - 第九条 衛生的で安全な水を使い水はけをよくしましょう。
 - 第十条 化学薬品はなるべく台所以外のところにきちんと保管しましょう。
- 厚生課 衛生係